

# 小中連携だより No. 10

小中連携推進会

(文責：広田中学校 副校長 山口伸一郎)

平成29年5月10日

## 中学校の先生方の乗入れ授業が始まりました。



(音楽)



(外国語活動)



(書写)

新学期がスタートして、およそ2週間が経過しました。小中学生ともにクラス編制が行われ、新しい環境となりましたが、徐々にリズムをつかみ、学校生活も軌道に乗ってきました。

さて、そのような中、中学校の先生が小学生の学習指導に携わる「乗入れ授業」が始まりました。教科は、「音楽」・「外国語活動」・「国語（書写）」の3教科です。また、「外国語活動」については、ALT（外国語指導助手）のジュディ先生も指導に関わります。

初めて出会う中学校の先生の指導に、最初は緊張した面持ちの子どもたちでしたが、学習のきまりや流れを理解しながら、とても意欲的に学習に取り組んでいます。

小学6年生と中学生が同じ敷地で生活している、小中一貫型であるからこそその特徴的な取組ですので、6年生の学習に対する興味・関心・意欲及び学力の向上に少しでもつなげることができるよう実践を積み重ねていきたいと思えます。

## 中学生も6年生を歓迎しています。

4月から新しい学年での生活をスタートした中学生も、様々な場面で小学生との関わりが増え、先輩としていろいろなお世話をしたり、一緒に話しながら登校したりする姿が見られます。

これからもいろいろな部分で小学生と活動を共にすることが増えてきます。6年生から憧れのまなざしで見られる頼れる先輩となれるように、中学生も今後しっかりと成長してほしいと願っています。



(朝の登校)



(部活動紹介)

# 6年生も元気に生活しています。

新校舎での生活にも少しずつ慣れてきた6年生。給食の食器が陶器に変わったり、いろいろなところで中学生との交流が生まれたりなど、学校生活の内容も5年生までとはいろいろと変化したところがあります。しかしながら、さすがは広田の子どもたち。こちらの心配をよそに、子どもたちは明るく元気に過ごしており、新しい生活にすっかり馴染んでいます。

新学期が始まってまだ2週間程ですが、6年生の子どもたちの現在の声を少し拾ってみました。

- 校舎がきれいでいい気持ち。過ごしやすい。汚さないようにしたい。
- 新しい校舎に来て、楽しいことがいっぱい増えた。
- 明るくていいと思う。
- 給食のお皿が陶器になり、今までより大切に使えると思う。
- 中学生と仲良く過ごしていきたい。
- 小学校より運動場が広いので、いろいろな遊びができるようになった。
- チャイムが鳴らないので、よく時計を見るようになった。
- はじめは小学校に行けなくていやだなあと思っていたけど、だんだん慣れてきて楽しくなってきた。これからがんばっていけそう。
- △ トイレが2階にないのが困る。
- △ 体育館シューズを持っていくのを、時々忘れる。
- △ 給食の片づけがまだ慣れていない。

等

新しい生活に対して子どもたちもいろいろな思いがあるようですが、たくさんの期待や希望の声が聞かれたことはとてもよかったです。これから様々な実践を行う中で、課題については修正をしながらよりよい教育活動が展開できるように全職員一丸となってがんばっていききたいと思います。今後とも、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



昼休みも、どんどん体を動かして、伸び伸びと運動しています。

ご意見やご質問、ご感想等は、下欄にご記入のうえ、お子様を通じて小学校、中学校へご提出願えれば幸いです。尚、記入欄が足りない場合は、別の用紙や連絡帳に記入されて提出していただいてもかまいません。